

# たかおか

# 市議会 だより

No.70 3月定例会号  
令和5年(2023年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
代表質問	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	7P
一般質問(一問一答)	11P
委員会の動き	12P

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「櫻日和」(たかおか市議会だより表紙写真 応募作品) 撮影:堀 明弘



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。  
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。  
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは  
こちら→



YouTube の  
視聴はこちら→



# 令和5年度予算全会計

## 総額1366億6259万円を可決

### 代表一般質問に17人が登壇

3月定例会は1日に開会し、24日に閉会しました。

市長から令和5年度予算をはじめ36議案が、議員から6議案が提出され、うち40議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、代表質問に2会派、一般質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

## 可決・承認・同意した 主な議案等

### 条例

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正を踏まえ、<sup>\*</sup>出産育児一時金の額を引き上げるもの。

(現行)

42万円(このうち1万2千円は産科医療補償制度の掛金相当分)

(改正後)

50万円(同)

子ども医療費助成条例の一部改正

子ども医療費助成の対象者を拡大するもの。

(現行)

15歳に達する日以後の最初の3月31日までの者が対象

(改正後)

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの者が対象

工業用水道事業給水条例の一部改正

近年の決算状況と、今後の動力費、維持管理費等の増加の見込みを踏まえ、工業用水道料金の見直しを行うもの。

(現行)

4.3円/m<sup>3</sup>

(改正後)

7.0円/m<sup>3</sup>(激変緩和措置として、令和7年3月末までは5.7円/m<sup>3</sup>)

### その他

財産の譲与(建物)

福岡コミュニティセンター(木楽館)を土屋自治会へ譲与するもの。

(所在) 福岡町土屋108番地1

(構造) 木造2階建

(面積) 498.68m<sup>2</sup>

### 人事

教育長

近藤 智久氏(再任)

教育委員会委員

藤重 歩氏(新任)

監査委員

廣嶋 康雄氏(再任)

人権擁護委員

寺口 克己氏(新任)

向 富士子氏(再任)

本林 弘吉氏(新任)

### 意見書

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣、内閣官房長官に提出しました。

最低賃金のさらなる引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書

日本の実質賃金は、1997年以来四半世紀で約1割下がっている。最近では、コロナ禍と、生活必需品の激しい価格高騰の影響により、低所得者の生活はより深刻になっ

ている。賃金引上げの重要な方法の一つが、最低賃金引上げである。昨年、全国加重平均は961円となったが、現状では賃金上昇より物価高騰が大幅に先行している状況である。同時に、さらなる引上げには原材料高騰分の価格転嫁が困難な中小企業への支援が特に不可欠である。よって、国会及び政府が次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1 国民の暮らしを支え消費を拡大するため、最低賃金をさらに引き上げること。
- 2 最低賃金引上げの際には、コロナ禍での様々な経営支援、下請け取引の適正化、各種財政支援など、中小企業への支援を強化すること。

## 討論要旨

— 令和5年度予算 —

### ○未来創政会

《賛成》

令和5年度予算には、戦略的な情報発信のための予算が計上されている。これまで、地域担当職員や高岡市営業部の設置、どこでも市役所シリーズなど、独自のアイデアで市役所改革を進め、最近では発信力の強化によって、届けべき人や求めている人に必要な情報を伝えようと努力しており、市当局が一丸となり

引き続き工夫を続けることで、更に住み良いまちになっていくと確信している。また、カーボンニュートラルやDX(デジタルトランスフォーメーション)などを通じ地域課題を解決し、地域も暮らしも豊かになる社会の構築を目指し、市民などの「挑戦」に対し力強く支援していく予算も盛り込まれている。情熱や信念を持って、よりスピーディーに取り組むことを期待する。

○自由民主党高岡市議会議員会

《賛成》

市民、企業、地域の挑戦に対する支援を拡充し、挑戦の連鎖を作り出すことを目的とする予算について、一定の評価をする。少子高齢化などの影響による扶助費の増加、エネルギー価格高騰の影響による施設維持管理費の増加も相まって、予算規模は平成29年度以降で最大であり、今後も扶助費などの増加が見込まれる。財政規律の堅持に努めるため、会派としてもしっかりと取り組んでいく。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の扱いが見直され、これまでの生活が少しずつ変わっていく中で、様々な課題に向き合うことになると予想されるが、都度、議会と行政とが向き合い

解決を図っていく必要がある  
と考える。

### ○立憲民主・市民議員団

《賛成》

次代を担う子どもたちの健全な成長を支える点や、市民生活の安全・安心を確保し、市民が挑戦へのスタートを切るための環境を整える点など、新しい観点や施策を評価する。

勝興寺の国宝指定も踏まえ、歴史・文化資産が多くある本市の強みを未来にわたって発揮し続けられる取組を期待する。

### ○公明党

《賛成》

市民生活は不安定な状況が続いている。現状に合わせた対応と数十年後の未来を見据えた施策を両立し、舵取りすることは大変難しいが、すべての市民が安心して暮らせる高岡の実現のため、引き続き尽力することを求める。

エネルギー価格・物価高騰による市民生活への影響が甚大であるため、誰一人取り残さない支援策を求める。また、地域経済を牽引している中小・個人事業主に対しては、引き続き事業継続ができるよう支援の強化を求める。

### ○高岡愛

《賛成》

令和5年度予算のテーマは「未来につながる挑戦を加速させる予算」で、時代にあわせて、また、先取りした体制を着実に進めていくという姿勢を強く感じる。党派として強く要望していた新婚世帯向けの移住支援の拡充も盛り込まれ、高岡に住みたいという方

が増加する大きな一歩であると感じる。また、多様化する市民課題にあわせて、市民の困りごとに寄り添う事業が増加したことも評価する。

令和5年度予算のうち、重点投資するための特別枠「高岡を前へ進める事業」の総額は約9.8億円となり、54事業もの幅広い分野への予算が計上された。限られた予算を効果的に使い、国や県の制度を補完するような積極的な支援については、大変力強く感じている。

全国的に人口減少が進むなか、本市では不妊治療への助成の拡充をはじめ、子育て世代を対象とした様々な支援により出生数が増加した。この流れを更に加速させ全国から選ばれる高岡となるよう願う。変わりゆく地域社会の中でも互いに支え合い、誰もが安心して暮らせるよう、どこまでも市民目線で高岡を前へ進めるよう要望する。

## 議会の新しい構成決まる

3月定例会最終日の24日に、議長の辞職に伴う選挙を行いました。



中川議長

酒井副議長

## 議長に中川 加津代氏

略歴 副議長、総務文教、民生病院、産業建設の各常任委員長、港湾・公共交通対策特別委員長などを歴任

### 議長、抱負を語る

この3月定例会で、高岡市議会議長を拝命いたしました。公平公正な議会運営に徹し、市民の皆様から信頼される議会となるよう、努めて参ります。

現在、世界情勢の目まぐるしい変化によって、本市でも身近な経済活動や市民生活に様々な影響が及んでいます。

また、日本の少子高齢化は想定以上のペースで進行し、本市も例外ではありません。このような情勢のもと、地方自治の在り方も問われています。健全な財政管理に努めること、適切なタイミングで的を射た政策を打ち出すこと、

議会が果たすべき役割と責任はこれまで以上に大きいと考えます。市民の皆様の声に真摯に耳

を傾ける、開かれた議会となるよう、不偏不党の立場で力を尽くして参ります。それが、高岡を住みよいまちにするこ

とにつながり、市長の掲げる「持続可能な未来都市高岡」の実現にもつながると信じます。皆様方には、今後ともご理解ご協力、そしてご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく

# 議決結果一覧表（令和5年3月定例会）

## [議案]

番号	件名	結果
第1号	令和5年度一般会計予算* ＜予算の総額＞ 688億9,634万円	可決
第2号	令和5年度国民健康保険事業会計予算* ＜予算の総額＞ 146億1,489万円	
第3号	令和5年度荻布奨学金事業会計予算* ＜予算の総額＞ 166万円	
第4号	令和5年度駐車場事業会計予算* ＜予算の総額＞ 2億1,088万円	
第5号	令和5年度介護保険事業会計予算* ＜予算の総額＞ 195億9,594万円	
第6号	令和5年度後期高齢者医療事業会計予算* ＜予算の総額＞ 28億8,024万円	
第7号	令和5年度高岡市民病院事業会計予算* ＜予算の総額＞ 122億5,361万円	
第8号	令和5年度水道事業会計予算* ＜予算の総額＞ 60億8,868万円	
第9号	令和5年度工業用水道事業会計予算* ＜予算の総額＞ 4,299万円	
第10号	令和5年度下水道事業会計予算* ＜予算の総額＞ 120億7,736万円	
第11号	市附属機関に関する条例の一部改正	
第12号	子ども・子育て会議条例等の一部改正 「子ども・子育て会議条例の一部改正」 「認定こども園条例の一部改正」 「きずな子ども発達支援センター条例の一部改正」	
第13号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第14号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第15号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第16号	国民健康保険条例の一部改正	
第17号	介護保険条例の一部改正	
第18号	こども医療費助成条例の一部改正	
第19号	特定公共賃貸住宅条例の一部改正	
第20号	博物館条例等の一部改正 「博物館条例の一部改正」 「福岡歴史民俗資料館条例の一部改正」 「万葉歴史館条例の一部改正」 「美術館条例の一部改正」 「ミュゼふくおかカメラ館条例の一部改正」	
第21号	福岡B&G海洋センター条例の一部改正	

## [議案]

番号	件名	結果	
第22号	工業用水道事業給水条例の一部改正	可決	
第23号	財産の譲与（建物）		
第24号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更		
第25号	令和4年度一般会計補正予算（第8号） △5,083万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・市立学校教育活動体制整備事業 4,500万円 ・伏木駅前観光駐車場拡張整備事業 4,000万円 ・学校教育振興基金への積立 2億円 ・ふるさと応援基金への積立 1億円 など		
第26号	令和4年度国民健康保険事業会計補正予算（第2号）		
第27号	令和4年度介護保険事業会計補正予算（第3号）		
第28号	令和4年度後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）		
第29号	令和4年度高岡市民病院事業会計補正予算（第3号）		
第30号	教育長の任命について同意を求める件		同意
第31号	教育委員会の委員の任命について同意を求める件		
第32号	監査委員の選任について同意を求める件		
第33号～35号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件		

## [報告]

番号	件名	結果
第1号	専決処分の報告 （令和4年度一般会計補正予算（第7号））3億円 ＜補正予算の内容＞ 除雪事業費 3億円	承認

## [議員提出議案]

番号	件名	結果
第1号	市議会会議規則の一部改正	可決
第2号	市議会委員会条例の一部改正	
第3号	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	
第4号	最低賃金のさらなる引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書	
第5号	子どものために保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書	否決
第6号	日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書	

## [議員別賛否一覧]（賛否が分かれた議案等のみ）

○…賛成    ×…反対    ※…議長は表決に加わりません。

議案番号	議員名	山上	新開	梅島	田中	熊木	出町	埜田	篠井	中村	高岡	酒井	林	山口	石須	本田	横田	藪中	中川	坂林	福井	上田	金森	曾田	水口	大井	狩野
		尊士	広恵	清香	勝文	義城	讓	悦子	哲治	清志	宏和	善広	貴文	泰祐	大雄	利麻	誠二	一夫	津代	永喜	直樹	武	一郎	康司	清志	正樹	安郎
議員提出議案 第5号		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×
議員提出議案 第6号		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	※	×	○	×	×	×	×	×	×

\* 予算の基本方針は高岡市ホームページで確認できます。

(https://www.city.takaoka.toyama.jp/hisho/shise/gaiyo/shicho/hoshin/r5-3.html)

# 代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



未来創政会  
金森 一郎

金森議員の  
質問の様子はこちら



## 令和5年度予算

■ 新年度予算について問う。

(1) 重点的に取り組む4つの「挑戦」施策について、どのような視点や考え方に立って財源を重点配分したのか。

(2) アフターコロナの人流再開が見込まれるなか、稼ぐ観光の実現に向けた本市の考えは。

市長 (1) 令和5年度当初予算案は、高岡を前へ進めるための特別枠を軸に、4つの柱から成る施策を打ち出すこととした。1つには、市民や企業が新たな一歩を踏み出す契機を後押しする「挑戦の種を育む施策」。2つには、挑戦に関わる人を繋ぎ、地域の課題解決や魅力向上を図るための取組をまち全体へ広げていく「挑戦する人を繋げる施策」。



新年度予算に取り組む高岡市

3つには、次代を担う子どもたちの健全な成長を支え、持続可能な経済社会や環境の構築を目指す「挑戦を拓く未来への投資施策」。4つには、市民生活の安全・安心を確保し、市民が挑戦へのスタートを切するための基盤を整えることを目指す「挑戦への礎を築く施策」である。結果として、予算の特別枠として設けた「高岡を前へ進める事業」は、事業費ベースで約9.8億円と重点的に予算配分を行った。これらの施策により、市民の皆様とともに挑戦の種を育み、挑戦を助け、まち全体が持つ課題の解決へとつながるよう取り組んでいく。

## 産業振興部長 (2) 観光産業は、

地域外から観光客と消費を呼び込む特性から、より大きな効果が見込まれるため、成長、発展させるべき分野と考えている。そのためには、稼ぐ観光を具現化することが必要であり、本市においても、観光客を地域に呼び込み、一人一人の消費を拡大させ、地域全体に循環させるといったヒト、モノ、コトの流れをまち全体で生み出していくことが肝要と考えている。令和5年度当初予算案では、これまでの観光関連予算を大幅に見直し、北陸3県や飛騨地域を発着点とした着地型旅行商品の造成支援や、既存の飲食ターポン「高岡彩食」を市内の宿泊施設や飲食店との連携強化が図られるよう再構築する等の対策を講じる予定である。観光に携わる民間事業者の「挑戦」への支援等を通じ、本市の稼ぐ観光を推進していく。

## 旧平米小学校の跡地活用

■ 市内唯一の空き校舎である旧平米小学校の跡地の検討

状況は。

教育長 旧平米小学校については、老朽化が進んでいる旧校舎部分と、築21年と比較的新しい新校舎部分があり、新校舎部分については一定期間の活用が可能と考えた。庁内で検討を重ねる中で、現教育センターの機能に加え、外国人児童生徒への支援や保護者を対象とした教育相談や就学相談などの新たな対応ができる体制を整えることが必要と考え、公共交通の利便性等もよく、児童生徒や保護者が利用しやすい環境にある旧平米小学校の新校舎部分を活用して、(仮称)教育総合支援センターの設置という方向性を取りまとめた。今後、市としての方向性を地域に説明し、意見を聞いていきたい。

## 地域づくりの活動拠点

■ 住民が主体的に地域づくりに取り組むには活動拠点が必要と考えるが、見解は。

市長 地域では、活動の担い手の高齢化や固定化が進み、地域活動の運営に支障が出始めている。また、多様化する地域ニーズに答えられる活動場所を必要としている地域も複数ある。こうした実情を踏まえ、連合自治会からは、市

立公民館について、地域活動の事務局機能を付与することや、収益事業など自由に活動を行える拠点としたいとの要望があがっている。そこで、市立公民館施設を、従来の生涯学習機能は維持しつつ、地域活動の拠点として幅広い用途に活用できるように、(仮称)地域交流センター化を進め、地域の様々な挑戦を実現できる拠点として施設を活用してもらえよう準備を進めたい。

## 誰も取り残さないまちづくり

■ 高齢者や障がい者をはじめとする支援を求める市民に対し、保健・医療・介護の相談支援体制の構築が重要と考えるが、見解は。

福祉保健部長 近年、個人あるいは一つの世帯で、子育てや介護、健康、障がい、生活困窮など、複数の問題を抱えている方からの相談が増加傾向にあり、一つの分野だけで対応することは困難な状況となっている。このため、困りごとの相談を「丸ごと」受け止めて、行政及び保健・医療・介護などの支援機関、住民を含む地域などの複数の機関が連携する包括的な相談支援体制により、解決していくことが重要と考える。各課窓口

及び相談機関の職員に対して、専門分野以外の制度の理解についての研修等を実施することで、生活上の様々な相談に対応する体制強化に努めたい。



自由民主党  
高岡市議会議員  
福井 直樹

福井議員の  
質問の様子はこちら



## 財政規律の堅持に向けて

**■ 高齢化の進展等により、今後も扶助費等の増加が見込まれるが、財政規律の堅持に向けた考えは。**

**総務部長** 令和5年度当初予算案において、扶助費は前年度比で約3%の伸び率となっている。扶助費については、高齢者や障がい者をはじめとした市民生活の安定を支えるための経費として、あるいは未来を担う子どもたちのため、市民ニーズも踏まえながら必要額を確保してきた。一方で、限られた財源の中で、事業目的や行政に求められる役割との整合性から、必要なものに予算を重点配分するなど、的確に対応しなければならぬ。引き続き、こうした財政需要

に対応しながらも、市債の適正管理や国・県補助をはじめとした財源の確保に努め、財政規律を堅持していく。

## 教育環境の充実を図る

**■ 財政の健全化を維持しつつ、市総合計画にある「教育効果を高める教育環境の充実」を図るために既存施設を有効活用することへの見解は。**

**教育長** 平成31年2月に示した「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置の基本的な方向について」に基づき取り組んでいる小学校の再編統合では、小中一貫教育の環境を整え、教育の充実を図るため、中学校校舎の併設や一体化といった学校施設の整備を進めてきた。整備にあたっては、統合後の児童数を見据え、中学校校舎の余裕スペースを小学校施設として活用、あるいは小学校と中学校の特別教室を兼用する等、できるだけ無駄のない設計に努めている。今後進める学校整備では既存施設の有効活用も図りながら、教育環境の充実に努めていく。

## 持続可能な公共交通に向けて

**■ 自治体と交通事業者が交**

通サービス水準等の協定を締結して行う、エリア一括協定運行事業についての見解は。

**未来政策部長** エリア一括協定運行事業とは、自治体と交通事業者が運賃やサービス水準、官民の役割分担等を定めた協定を締結し、一定のエリア内で一括して路線バス等を運行する取組を国が支援する制度と認識している。国では、この制度の創設により、地域全体としての中長期的な経営戦略が可能となること、交通事業者が自治体と連携して地域交通を改善するインセンティブにつながるなどが期待できるとしている。現在、制度の詳細が示されておらず、支援の条件等が明確ではない状況にあるが、各種交通インフラを有する本市としては、持続可能な公共交通を支える諸制度の拡充に期待しており、動向について注視していく。

## 企業誘致に向けた今後の取組

**■ 令和3年度の候補地検討・適地調査やこれまでのニーズ調査の結果を踏まえ、新規産業団地の造成についての方針は。また、企業誘致に向けた今後の取組は。**

**産業振興部長** 令和3年度に新たな産業団地の候補地選定



完売となった産業団地で工場の建設が進む

## 未婚化・晩婚化への取組方針

**■ 少子化の要因とされる、未婚化・晩婚化の進展に歯止めをかけるには、行政主導による効果的な施策が必要と考えるが、今後の取組方針は。**

**市長** 本市では、不妊治療への助成をはじめ、出産を希望される方や子育て世帯を対象とした施策の拡充に取り組み、出生数は2年連続で増加している。子どもを産み育てやすい環境を整えることに加え、未婚化・晩婚化の進展に歯止めをかけることも持続可能なまちを目指す上で大切な視点と考える。市では、広く日常生活圏域を対象とした出会いの機会の創出が効果的と考え、高岡地区広域圏事務組合が実施する婚活イベントへの提案や連携、情報交換等を通じて、婚活への取組をサポートしている。また、同組合では、新たに婚活無料相談事業や、圏域の枠を超えたイベントの共同開催なども予定されており、一層の連携強化に努めていく。出会いの機会を増やすにはどういったことができるのか、現在、若手職員からなる高岡市営業部において検討を進めている。

# 一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、12人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



山上 尊士  
公明党

山上議員の  
質問の様子はこちら



## 不登校児童生徒について

**問** 不登校児童生徒への支援として、不登校特例校や学校内のフリースクール（SSR）を設置しては。

**教育長** 近年、県外の自治体において設置された例が報告されている。児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実が期待される一方で、設置にあたっては、設置場所や設置数、通学手段のほか、教職員の確保や財政的な問題など課題もある。現時点では設置を考えていないが、先行事例などの情報収集に努め、不登校の児童生徒一人一人の状況に応じた、よりよい支援体制の在り方について研究したい。

## 相談支援ネットワークの推進

**問** 相談支援ネットワークを

推進し、今後どのような相談支援体制を目指していくのか。

**福祉保健部長** 本市では、誰一人取り残さず、安心して生活できるよう、市民が抱えている複雑化・複合化した生活課題について、まずは行政や相談機関が分野を超えて丸ごと受け止める。そして、市と社会福祉協議会が両輪となり、地域包括支援センター、障害者相談事業所等の専門機関及び地域の関係機関・団体等、多様な機関が連携して適切な支援につなげていく。こうした重層的支援体制について、令和6年度の構築を目指していく。



田中 勝文  
未来創政会

田中議員の  
質問の様子はこちら



## 広域婚活支援事業の拡充

**問** 高岡地区広域圏事務組合が取り組む広域婚活支援事業を拡充するよう働きかけては。

未来政策部長 同組合では、令和5年度の婚活に係る新規取組として、無料相談事業を開催し、婚活に取り組む本人とその家族も含めて広く相談に対応することや、高岡地区広域圏の枠を超え、他の地域や団体等との出会いイベントの共同開催、婚活ボランティアの交流など、より広域的に展開する方針を示している。市としても同組合への積極的な提案や、イベント開催情報の市公式LINEでの発信・PRなどを通じ、同組合との連携を強化しながら、婚活の取組を進めていく。

## 子育てイベント等の開催方法

**問** 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5月に5類へ移行することを受け、子育て関係の各種教室やイベント等の開催方法の考え方は。

**福祉保健部長** 同感染症の扱いが5類に移行する方針を受け、利用の予約制や参加人数の見直しについて、現在、講師にも相談しながら検討しており、少しでも多くの親子が各種教室や子育て支援センタ



子育てイベントの様子

ーのイベント等に参加できるようにしていきたい。5類に移行した後においても、換気や玩具の消毒などの感染症対策を徹底し、安心して利用してもらえるよう努めていく。



梅島 清香  
未来創政会

梅島議員の  
質問の様子はこちら



## 女性人材バンク

**問** 女性人材バンクの推進検討会議の検討状況は。  
**生活環境文化部長** 学識経験者や関係団体等で構成する女

性人材バンク推進検討会議において、対象者は子育て中などで活動時間等に制約がある女性であること、登録する女性及び企業は事前の審査を行ったうえで登録することなど、具体的な制度案が固まってきた。今後、審査基準の設定など残された課題を整理し、次回の推進検討会議において、最終の確認を行いたい。

## 放課後児童クラブ

**問** クラブに入れない子どもたちの今後の対策は。

**福祉保健部長** 民設の放課後児童クラブは、小学校区の児童に限らず、柔軟な受け入れを実施しているクラブもあり、今後、民設クラブの支援を充実させることで、市全体の放課後児童クラブの課題解決を図りたいと考えている。民設クラブは、開設初年度から2、3年ほどは、利用者が少ない傾向があり、運営が厳しい状況となることもある。また、国の補助基準では、登録児童数が10人未満のクラブは補助対象外となっていることから、今定例会において、登録児童数10人未満の民設クラブに対し、市独自の新たな補助を提案した。公設と民設の両方を支援することで、児童の健全な育成を支えていく。



上田 武  
立憲民主・  
社民議員団

上田議員の  
質問の様子はこちら



### 予算の方針

**高騰による市民生活への影響をどのように受け止め、予算に反映したのか。**

**総務部長 エネルギー価格・物価の高騰による影響は非常に大きいと考えている。令和4年度は、市民生活の安定のため、公共交通機関、福祉施設、学校給食等への支援など、補正予算を含めて予算措置をしてきた。5年度も、子ども医療費助成の対象拡大や、出産・子育て応援金の支給など、子育て世帯への支援について、国と同様に物価高騰対策としても位置付けて予算措置している。今後とも、エネルギー価格・物価の動向を踏まえつつ、安全安心な市民生活を守るために必要な施策について、国・県の補助金も有効に活用しながら積極的に対応したい。**

### 給食費への補填を

**給食の質や量、栄養価を**

維持するため、引き続き価格高騰分については補填すべきと考えるが、見解は。

**教育長 令和5年度の給食費は、保護者の負担とならないよう値上げを行うことなく、できる限り質や量、栄養価を保ち、安全安心な給食の提供に努めたい。現段階では、この先1年間の物価の動向を見通すことが難しいことから、今後、物価の推移を注視しつつ、適切に対応したい。**



山口 泰祐  
自由民主党  
高岡市議会議員

山口議員の  
質問の様子はこちら



### 本市の観光予算

**全国的にコロナ禍前の日常を取り戻そうとする動きがあるなか、令和5年度当初予算案における観光費は前年度とほぼ同額であるが、見解は。**

**産業振興部長 令和5年度当初予算案は、4年度と同規模ではあるが、市内への誘客や宿泊を促進し、来訪者の滞在時間の延長や観光消費を高めるために、観光関連予算の内容を大幅に見直した。「稼ぐ観光」の実現には、コスト意**

識をもった事業推進が肝要であり、今後とも事業の見直しを図りながら最大の効果が得られるよう取組を進めたい。

### 中小零細企業・個人事業主支援

**働き手不足により中小零細企業・個人事業主の経営状況が厳しくなっている現状について、受け止めは。**

**産業振興部長 生産年齢人口の減少が見込まれるなか、企業訪問や関係機関へのヒアリングを通じ、働き手不足が各事業者の喫緊の課題であることを認識している。令和5年度は各種支援メニューを新たに展開することとしており、複業人材等を活用する事業者**



高岡まちなかスタートアップ支援施設TASU

の取組への支援や、インターンシップ制度の推進による学生と事業者とのマッチングのほか、ものづくりやデジタル技術等への習得に係る人材育成の支援に取り組むこととしている。引き続き、厳しい経営状況の中でも挑戦する事業者の支えをしていきたい。



中村 清志  
未来創政会

中村議員の  
質問の様子はこちら



### 高齢者の社会参加の推進

**高齢者の社会参加を推進するため、ボランティア活動や市民活動に参加したい高齢者が自らの情報を登録して、活動を行っている団体に情報提供する仕組みを構築しては。**  
**福祉保健部長 令和5年度に予定している高齢者向けアプリの開発において、高齢者が自ら情報発信できる機能についても検討を予定している。このアプリを活用していただき、高齢者と活動団体とのマッチングを図り、高齢者の社会参加を推進するとともに、高齢者が有する貴重な知識や経験を社会に活かしていただ**

ける仕組みを検討していく。

### がん患者に対する支援

**がんになっても安心して暮らせる社会の実現のために、がんに対する認識の啓発を推進すべきと考えるが、見解は。**  
**福祉保健部長 がんになっても自分らしく生き生きと働き、尊厳を持って暮らせるよう、令和5年度から、がん治療による外見の変化によって受ける心理的な苦痛を軽減するため、医療用ウィッグと乳房補正具の購入費用に対する助成を行うことで社会参加を促す、がん患者アピランスケア助成事業を実施する。今後、この事業を必要とされる方々に活用いただけるよう、医療機関と連携を図り周知に努めていく。**



熊木 義城  
高岡 愛

熊木議員の  
質問の様子はこちら



### 新婚世帯向け支援事業

**新婚世帯向けのたかおか暮らし支援事業について、拡充した制度をどのように対象者に周知していくのか。**

## 都市創造部長 たかおか暮らし支援事業では、子育て世帯や市外、県外からの移住者世帯に加え、令和5年度からは新たに夫婦とも39歳以下の新婚世帯も対象とし、制度の拡充を図ることとしている。本市としては、市民と市政、ホームページ、フェイスブック等に加え、市公式LINEによるプッシュ式での情報発信を行うほか、不動産関係団体等から対象者へ制度を紹介していただくなど、様々な手段を活用して、制度の周知に努めたい。

### 働く子育て世帯への支援

**問** 病児保育について、利便性の向上を図ってはと考えるが、見解は。

**福祉保健部長** 県では、より身近に病児保育を利用してもらう環境づくりのために、保護者がスマートフォンで予約できる仕組みの導入を推進しており、民間施設においてインターネットで予約可能なシステムを導入する場合の補助を令和5年度予算に計上している。本市としても、病児保育は仕事と子育ての両立のための支援策の一つとして重要であると考えており、民間施設に対して補助の活用について働きかけたい。



出町 讓  
高岡 愛

出町議員の  
質問の様子はこちら



### 空き校舎の活用

**問** 空き校舎の活用について

(1)旧平米小学校の空き校舎について、教育センターを移転する案を地元で説明したと聞いているが、令和4年12月の段階では、公共施設等適正管理推進事業債の「転用」を検討していなかったのか。

(2)他の学校の空き校舎活用も、旧平米小学校と同様に、庁内協議で決めた後、具体案を提示し住民に説明するのか。

**教育長** (1)現在進めている学校統合においては、統合後の新しい校舎を元の校舎とは別の場所で整備することとなるため、公共施設等適正管理推進事業債を活用するにあたっては、集約化・複合化のメニューを使うこととなる。転用のメニューは、改修前と異なる事業目的の施設を整備する場合に使えるものであることから、12月定例会の答弁では、統合校の整備にあたっては、

転用のメニューは検討していないと回答した。

(2)12月定例会の答弁で、各学校についての市の方向性がある程度まとまった段階で地域の意見を聞きたいと回答したとおり、その考え方について変わりは無い。庁内協議を重ねた後、ある程度の具体性を持った案を示しながら説明していきたい。



新開 広恵  
公明 党

新開議員の  
質問の様子はこちら



### 保育士確保に向けて

**問** 保育士の離職率を下げるには労働環境の改善や処遇改善が必要と考えるが、本市の取組状況は。

**福祉保健部長** 保育士の離職率を下げるため、本市の公立園ではICT等による業務効率化の推進とともに、私立園に対してもICT化のためのシステム導入に係る費用を助成するなど保育士の業務負担の軽減に取り組んでいる。また、国において令和4年2月から保育士の賃金を3%程度引き上げるための措置が実施

されており、処遇改善に向けた取組が進められている。今後も業務負担の軽減と賃金上昇による処遇改善を推進すること、保育士が働きやすい環境の整備や待遇の改善を図り、離職防止に努めたい。

### 带状疱疹ワクチンの支援

**問** 市民の負担を軽減するため、市独自でワクチン接種費用の助成に取り組むべきでは。

**福祉保健部長** 本市では、原則として、予防接種法によって市町村が実施すると定められている定期の予防接種について、全額公費負担あるいは一部公費負担としている。带状疱疹ワクチンは予防接種法の対象にはなっておらず、任意の予防接種であることから、現在のところ助成を行っていない。今後、带状疱疹ワクチンの定期接種化に関する国の動向を注視していきたい。



高岡 宏和  
未来創政会

高岡議員の  
質問の様子はこちら



### 市民が挑戦する地域づくり

**問** 市民が挑戦する地域づく

りについて問う。

(1)提案理由説明で、市民や地域が課題に挑戦する動きが広がってきているとされたが、どのような点でそのように感じるのか。また、その挑戦をどのように支援していくのか。

(2)市民とのコミュニケーションを図る、対話活動の見解は。

**市長** (1)中心市街地では、若い方々の出店や新規事業などへの挑戦が見られ、高岡まちなかスタートアップ支援施設TASUでの支援事業を展開していく。地域が抱える課題に対しては、住民が解決へ向けて取り組む動きが生まれ、地域担当職員のモデル配置の



高岡を前へ！まちづくりミーティング

\*プッシュ式：裏表紙(12ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

\*公共施設等適正管理推進事業債：裏表紙(12ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

継続や、外部アドバイザーの招聘による多機能地域自治を目指す地域の体制づくり支援により、持続可能な地域づくりをサポートするとともに、地域活動の拠点として、市立公民館の地域交流センター化に向けて準備を進めていく。

**未来政策部長** (2)市民ニーズや地域課題の多様化が進んでおり、対話内容を充実させるため、テーマを絞って実施することが効果的と考えている。令和5年度は、まちづくり出前講座の活用を検討しており、市民、地域、事業者の方々が直面する課題への挑戦につながるテーマについては、市長自らが講師として参加し、市の考え方や取組内容などを届け、共に考える場としたい。



**桒田 悦子**  
立憲民主・  
社民議員団

桒田議員の  
質問の様子はこちら



**子どもの権利条例**

**問** 子どもの権利条例に対しての本市の姿勢と考え方は。  
**市長** 子どもに関する条例は、自治体によって種類や内容、規定の仕方が様々であること

から、本市では、条例制定した先行自治体の例を調べるなど、条例の必要性や条例を制定する場合の種類や内容について検討を進めてきた。これも基本法に定められている地方公共団体の責務として、地域における子どもの状況に応じた施策を総合的に推進していくとともに、更なる対応が求められる課題等が生じた際には、市民から広く意見を聞きながら、対応を検討していく。

**民生委員・児童委員の役割**

**問** 高齢化や核家族化、ひきこもりが増加するなか、民生委員・児童委員の活動はどのように変化しているのか。また、民生委員・児童委員の重要性についての認識は。

**福祉保健部長** 近年の社会構造の変化に伴い、8050問題やひきこもりなど新たな課題が発生している。世帯が抱える問題は表面化しづらく、身近な相談役としての民生委員・児童委員には、地域の幅広い福祉課題との関わりが求められている。地域の実情を把握しているからこそ、表面化しづらい問題に気づくことができるため、民生委員・児童委員の役割は、重要性を増している認識している。

**議会日誌**

**12月定例会後～3月定例会前**

- 12月20日 港湾・公共交通対策特別委員会  
行財政改革特別委員会  
広報広聴委員会
- 1月10日 広報広聴委員会
- 2月2日 民生病院常任委員会
- 8日 産業建設常任委員会  
総務文教常任委員会
- 13日 議員説明会
- 21日 議会運営委員会
- 27日 正副常任委員長会議  
広報広聴委員会

**3月定例会**

- 3月1日 代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
本会議(提案理由説明)  
議案説明会
- 2日 議案説明会  
本会議(追加提案理由説明)  
議案説明会
- 7日 本会議(代表質問)
- 10日 本会議(一般質問(一括))
- 13日 本会議(一般質問(一括))
- 14日 議会運営委員会
- 16日 本会議(一般質問(一問一答))
- 20日 代表者会議  
民生病院常任委員会  
産業建設常任委員会
- 22日 議会運営委員会  
総務文教常任委員会
- 24日 委員長会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
本会議(議案など議決)  
代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会



**横田 誠二**  
自由民主党  
高岡市議会議員

横田議員の  
質問の様子はこちら



**人口減少対策の推進**

**問** 現状分析による課題抽出や施策の立案・実行で、人口減少の克服を進めるべきでは。

**市長** 人口減少対策は、価値観やライフスタイルが多様化する現代においては、「結婚したい」「子どもをもちたい」という希望が叶うことが何よりも大切と考えている。結婚を望む方に対しては、高岡地区広域圏事務組合と連携して、

イベントや様々な取組を強化していく。出産を望む方に対しては、特定不妊治療費助成の拡充や、伴走型相談支援を行っているほか、子育て支援情報の発信を見直した。これらに加え、新たにこども医療費助成の対象を高校生相当まで拡充するなど、人口減少を克服する様々な施策を展開したい。

**ICTの活用**

**問** 市公式LINEを一層便利にするため、個々の手続きやサービスが一貫してデジタルで完結できるようにしては。

**未来政策部長** 全国的に、LINE等のアプリを使った行政サービスの導入や、利便性の高い行政サービスの提供手

法の検討が進められている。本市では公式LINEをリニューアルし、市民の方々が手続きに必要な情報をプッシュ式で受信し、申請までをワンストップで対応可能とする環境を整えた。利便性向上に向けて、引き続き検討したい。



市公式LINEに表示されるメニュー画面

# 一般質問

(一問一答)

今定例会では、3人が市政全般にわたり一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



篠井 哲治  
未来創政会

篠井議員の  
質問の様子はこちら



## 農業のブランド化

**問** 海外輸出を目指して農産物や水産加工物のブランド化に向けて取り組んでは。

**市長** 海外輸出については、相手国のニーズ・規制や、現地販売業者等との関係構築といったハードルへの対応に加え、輸出することで「稼ぐ農業」となる可能性を実感してもらうことが重要である。こうしたことから、ワンチームとやま連携推進本部での議論を受け、令和4年度は、地域商社が設立され、5年度は、県と市が連携して輸出に取り組む生産者・事業者への支援が予定されている。本市としては、関係機関と連携し、輸出にチャレンジする生産者・事業者への支援に努めたい。

## 脱炭素化の実現に向けて

**問** 次世代エネルギーの候補となっている水素やアンモニアの産業化を将来に向けて検討を進めては。

**市長** 本市が令和4年度策定する地球温暖化対策実行計画では、水素など次世代エネルギーの利活用も視野に入れている。現在、本市や市内企業が参画する一般社団法人富山水素エネルギー促進協議会を通じて、アンモニアの活用も含め、先進事例の情報収集等を行っている。また、市内では、水素エネルギーの実用化に向け研究開発を重ねている企業もあり、その取組に期待し、積極的に関わっていききたい。



林 貴文  
自由民主党  
高岡市議会議員

林議員の  
質問の様子はこちら



## 観光戦略について

**問** 本市北部地区の観光戦略

について問う。  
(1)勝興寺の国宝指定を機に、伏木駅前観光駐車場の名称を変更しては。  
(2)クルーズ船の受け入れ再開に向けて、本市の決意は。  
**産業振興部長** (1)令和4年度3月補正予算案では、伏木駅前観光駐車場を自家用車専用として改修するとともに、観光バス駐車場を新たに整備するための費用を計上しており、これまでよりも多くの車両を駐車することが可能となる。これからも、多くの方が勝興寺に向かうことが予想されるため、ルート検索にも表示される効果等を鑑み、今回の整備を機に駐車場の名称を「勝興寺・伏木駅前観光駐車場」と改めたい。  
**市長** (2)令和5年度は、約3年10か月ぶりの寄港となるため、まずは乗船客の安全と利便性に配慮し、スムーズなオペレーションとなるよう、県や関係機関と連携を図り、万全を期したい。クルーズ船の寄港は、本市の魅力発信のみならず、経済効果や賑わいをもたらすものである。多くの

方々に勝興寺をはじめとする市内各所で楽しんでいただけるよう、関係者と協議を重ねながら最大限のおもてなしを行い、伏木港におけるクルーズ船受け入れの再始動を図りたい。



本田 利麻  
未来創政会

本田議員の  
質問の様子はこちら



## 市所有ピアノの活用

**問** スタインウェイ製ピアノを市民に開放する日を設けては。

**生活環境文化部長** スタイン

## 文化部活動への支援策

**問** 少子化に伴い吹奏楽部活動をどのように支えるのか。  
**教育長** 吹奏楽部においても、運動部と同様に休日の部活動の地域移行を進めることにより、活動の充実を図ることができると考えている。令和4年度は、各校の吹奏楽部顧問からなるワーキンググループを設けて地域移行に向けた課題について意見交換するなど、体制整備の準備を進めてきた。5年度には、本市の地域部活動移行推進委員会に、新たに文化部の小委員会を設け、具体的な検討を進めることとしている。



スタインウェイ製ピアノ

## 委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

### ○総務文教常任委員会

**問** 本市のホームページをリニューアルすることだが、どのように刷新し、どのような点を強化、改善するのか。

**答** 令和4年度に、外部人材から助言等をもらいながら、ホームページへのアクセス状況等を精査している。そういった中で、各ページの情報量やアクセス導線の適正化を中心に、リニューアルを進めていきたいと考えている。

### ○民生病院常任委員会

**問** がん患者アピランスケア助成事業として、がん患者への補正具購入費用助成を行うとのことだが、具体的な金額は。

**答** ウィッグ等や乳房補正具に係る購入費用の2分の1を助成する。助成の上限額はウィッグ等が3万円、乳房補正具が片方の乳房につき2万円である。

### ○産業建設常任委員会

**問** 里山整備における現状の課題とその対応策は。

**答** 地域のボランティアなどの組織において、協働活動に取り組んでいただいているが、どの組織も作業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、また、伐採した枝などの処理に大変苦慮している現状がある。令和5年度当初予算案においては、組織の活動の後押しや地域の適正な里山管理の一助となるよう、森林環境譲与税を活用し、チップパー機の貸し出しを行う新規事業



色とりどりのチューリップ

として357万円を計上している。

### 用語解説コーナー

#### 出産育児一時金

健康保険や国民健康保険などの被保険者やその被扶養者が出産した際に、出産に要する経済的負担を軽減するため、一定の金額が支給される制度。

#### プッシュユ式

新着情報等をスマートフォンやタブレットのアプリのアイコン上に通知する方式。他の伝達手段に比べ、情報をいち早く知らせることができ、確認してもらいやすい。

#### 公共施設等適正管理推進事業債

公共施設等の見直しを推進するために有効な地方債で、公共施設等の集約化・複合化、転用、長寿命化、除却等の事業に活用できる。

## 6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月2日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

12日	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
16日	9時	議会運営委員会
	10時	本会議 (一般質問(一括))
19日	10時	本会議 (一般質問(一括))
20日	10時	本会議 (一般質問(一括)予備日)
21日	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
22日	10時	議会運営委員会
	13時	総務文教常任委員会
27日	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

## 市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

### 12月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和5年 1月	-	0人
2月	-	0人
3月	65人	0人

## 編集後記

令和5年度予算を審議する3月定例会では、各議員より多方面にわたり質問・提案があり、活発な論戦の末、高岡を前へ進める事業・新規事業・拡充事業等、挑戦を生み挑戦を支える予算が成立しました。

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行します。感染症対策の基本的な取組は今後も継続していきながら、日常生活は徐々にコロナ前の状況へと戻りつつあります。一方で、ロシアのウクライナ侵攻は未だ収束の糸口が見えず、エネルギー価格の上昇や物価高騰の影響は深刻さを増しています。また、高岡のみならず、全国的に急速な人口減少による様々な問題があります。このような中でも、「挑戦」を合言葉に「持続可能な未来都市高岡」の実現に向けて、前に進んでまいります。

(田中記)

### ★編集委員

◎篠井 ○数中

新開、梅島、田中、熊木、

埜田、高岡、林、山口

(◎委員長 ○副委員長)